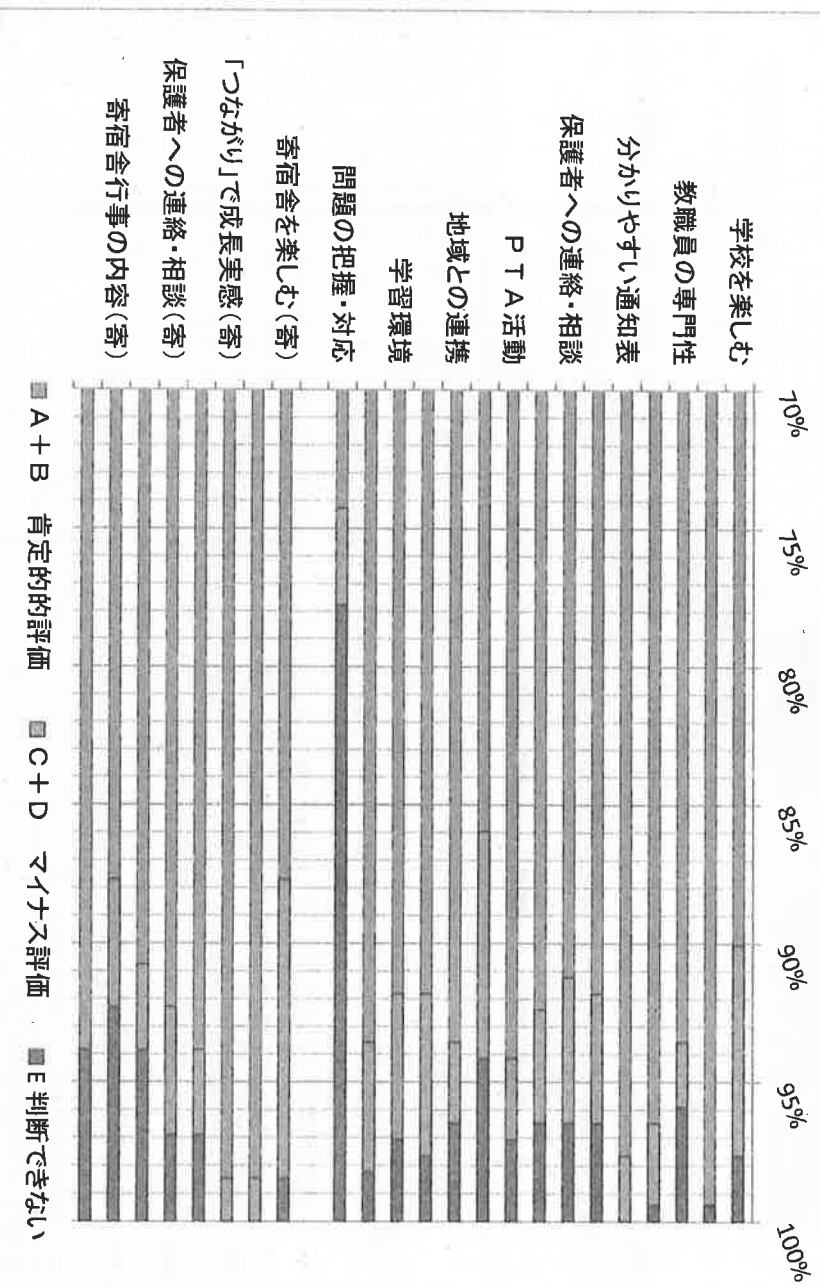


資料(1) アンケート集計結果(保護者)



1 分析と考察

・A+B評価を肯定的評価 C+D評価をマイナス評価として評価しています。

- (1) 今年度は、各学部や寄宿舎での取組に対し、昨年度と比較してほぼ同じか、昨年度より肯定的な評価を多くいただいています。本校の取組が周知され、ご理解をいただいていると考えます。
- (2) 高評価の中でも比較的低かった「進路情報の提供」や「自立支援協議会に絡んだ取組」については、学部や学年進行に合わせて、今後も引き続き取り組んでいきます。「誕生寺 NOW!」や学部通信、「福祉の話をする会」への参加呼び掛け等で引き続き発信をしていきます。
- (3) 寄宿舎生保護者アンケート評価では、高評価をいただいています。が、今後も個々の課題に寄り添った支援や行事の時期や内容を検討していきたいと思えます。
- (4) 新項目の「はじめやかからかい〜」については、「判断できない」の回答が多くありました。学校では、機をとらえた教育相談や全児童生徒を対象とした毎学期の「心のアンケート」により、児童生徒の心の動きの把握に努めています。該当がある場合は、保護者にも連絡をし、本校の「はじめ対策基本方針」により解決を図っています。

2 今後の取組

いただいた評価やご意見をもとに、現在の取組の質を落とさぬよう、さらに以下の3点について取り組んでまいります。

- (1) 教職員の指導方針の共通理解の徹底
 - (2) 進路指導情報の学年進行にあわせた発信と進路行事への参加の呼び掛け
 - (3) 本校ホームページや「誕支お知らせメール」の有効利用
- 今後とも、ご支援ご協力を、よろしく願います。